

# 牛久：学校周辺に見る自然

第56号 中根小

2011年2月3日発行

## ＜冬の校庭観察～植物 その1＞

1/27(木)、中根小4年生との「校庭の生き物たちの冬越し」。今回は植物その1 草本です。

### ①ロゼットで冬越し



オニノゲシ



ナズナ



セイヨウタンポポ



タネツケバナ



ウラジロチチゴグサ



フタナ

冬には地べたにベタッと葉を広げて冬を越す草が目立ちます。形がバラの花に似ているのでロゼットと呼ばれますが、「こんなふうをしていると何かいいことあるのかな？」と聞いたら、「お日様の光がいっぱい当たる。」とか「冷たい風を受けにくい。」とか次々と答えてくれましたね。セイヨウタンポポは、冬でもちょっと暖かくなると花を咲かせるようです。

### ②緑の葉をつけ、お互いにかたまる。



オランダミミナグサ



オオイヌノフグリ



ヒメオドリコソウ

緑の葉をつけて、たがいにより集まって寒さをしのいでいる草たちもありました。オオイヌノフグリも、ちょっと暖かいと花を咲かせますね。

その他、アサガオのように種子を秋に落として体全体を枯らすものもいれば、ススキのように地上部は枯れてしまうけど根や地下茎が生きていて、そこに着いている新しい芽が、春、すばやく成長するものもあります。庭や畑の草取りをすることがあったら、ついでに観察してみましよう。

【理科支援員・宮内】